

駒澤大学 1 - 1 平成国際大学

シュートを放つ碓井
(撮影：清村亮太)

終盤にまさかの失点
悔やまれるドロー

9月17日 11時30分 国士館大学鶴川サッカー場

駒大 1 (1-0) 1 平国大
(0-1)

得点者 (7人)

[駒]21分 吉岡 (碓井)

[平]89分 本田

KOMAZAWA

GK②野村政孝(4)
DF③田中雄一(4)
DF⑤伊藤慎人(3)
DF④平尾優頼(3)
DF⑬大木暁(3)
MF⑥若山瞭太(4)
MF⑦碓井鉄平(4)
MF⑰平野篤志(2)
(57分)⑩山本大貴(4)
MF⑱溝口裕真(3)
FW⑨小牟田洋佑(3)
(84分)⑯柳川剛輝(2)
FW⑳吉岡正和(1)
(68分)㉑小牧成亘(3)

S U B

GK①大石健太(4)
DF②友廣壮希(4)
MF⑳立石忠之(2)
FW⑦キムデセン(1)

MANAGER

秋田浩一

HOUSEI

GK⑩馬屋原宏樹(2)
DF⑯増田修斗(1)
DF⑳小松崎雄太(1)
DF②須藤貴郁(4)
DF③深井翔太(1)
MF⑤鎌田秀平(2)
MF⑥本田圭佑(4)
MF⑱堀越逸貴(1)
(71分)㉒佐藤健也(2)
MF⑪千葉真史(3)
MF⑳堀越龍也(3)
(86分)㉓坂本大武(3)
FW⑨星子直也(2)

S U B

GK①小池和樹(3)
DF⑭福嶋竜二(1)
DF⑬竹内悠貴(2)
MF⑦玉田将希(2)
FW⑱佐藤逸伶(2)

MANAGER

西川誠太

[シュート] 8:4 [GK] 2:11 [CK] 12:2 [直接FK] 13:24

[間接FK] 3:10 [主審] 沢辺 和也 [観衆] 112人

警告 (G) / 退場 (S)

[駒]67分 田中雄一 (c) [法] 31分 堀越龍也 (c)
[駒]84分 碓井鉄平 (c) [法] 35分 本田圭佑 (c)

※データの左側が駒大

勝利目前での悔やまれる失点

前節完勝した駒大。今節の平成国際大学はリーグ前半戦での対戦で後半ロスタイムに逆転負けした相手である。

試合は、競り合いで勝って得たセカンドボールや積極的なプレスでのボールカットにより前半序盤から駒大が試合を支配する。いい形が見られたのは前半13分、若山がカットしたボールを小牟田、吉岡とつなぎ平野へパス。平野のクロスはDFに阻まれるもそのこぼれ球に反応した碓井がミドルシュートを放つ。16分のCKでは吉岡のシュートのこぼれ球を小牟田が狙うなど、サイドからの攻撃やセットプレーで再三相手ゴールを脅かす。試合が動いたのは21分、碓井のクロスにゴール前に飛び込んだ吉岡がヘディングで合わせゴール。待望の先制点をあげる。好機をつくる駒大は、31分にペナルティエリアで倒されPKを獲得。しかし、キッカーの碓井がこのPKをものに出来ず追加点とはいかなか

った。その後も相手を圧倒した展開であったが追加点は遠く一点差のままで前半を折り返す。

後半も駒大ペースで試合は進むがなかなかゴールまではたどり着けない。柳川、復帰明けの山本、小牧を投入するも打破できず時間は過ぎ、相手のシュートを受け守備でしのぐ形になる。このまま試合終了かと思われた89分、クリアが短くなったボールを相手に決められ同点弾を押し込まれてしまう。集中した守備を見せていたが一瞬の集中の途切れを突かれワンチャンスをもにされる不運な展開で失点してしまった。結局このまま試合が終了し勝利目前であった駒大にとって痛恨のドローとなった。

「最後の最後での失点はうちの弱さ」と碓井が語るように最後の失点が悔やまれるが課題は選手全員が分かっているはずだ。そのような点を修正し、今節の流れを断ち切ってチーム一丸となって次節の東海大戦は今度こそ勝ち点3をつかんでほしい。

(高尾 葉菜)